

おおとりちゅうがっこうだよ

大鳥中学校便り 第五号

の感じる心(徳) の考える力(知・体) の行動する鳥中生(公・用)

まこはましり つ おおとりちゅうがっこう 横浜市立大鳥中学校

校長新庄広

いつもありがとうございます。本牧地域の皆様に見守られながら生徒たちは成長しています!

令和5年度人権教育実践推進校としての大鳥中学校の取り組み

夏休みが終わりました。この長期休みの間、生徒たちは本牧地域の方々の温かな眼差しに守られながら党党とに過ごすことができました。本牧神社大祭をはじめとするお祭りも数年ぶりに無事執り行われ、生徒達は沢道の経験をし、大きく成長しました。本当にありがとうございました。夏休み明け最初の学校使りでは、「令和5年度横浜市人権教育実践推進校」として生徒達の人権を守るために大鳥中学校で取り組んでいることを紹介します。

令和5年度 人権教育実践推進校 事業実施要項

趣旨・目的 児童生徒が、歴色のかかわりや互いの考え方を大切にし、自他の人権を尊重しながら、自分らしい生き方とよりよい社会を創造しようとする力と感性・態度を主体的に身につけていくために、人権教育実践推進校は、「だれもが」「安心して」「豊かに」自分が自治分として生き生きと生活できる学校や「まち」をめざす「人権尊重の精神を基盤とする教育(人権教育)」の研究と実践をし、本市・区の人権教育の牽引役的役割を果たす。

5つある「主な研究・実践内容」のうち、大鳥中学校は、「教職員の人権意識を高める取組『子どもの社会的スキル横浜プログラム』を活用した人権尊重の精神を基盤とした教育の実践」を選択し、現在、以下のようなステップで取組中です。

- ① 各担任が自分の学級の「学級風土チェックシート」により、学級の様子を客観的につかむ。
- ② 各児童生徒が学校生活アンケートに答え、「個人プロフィール表」を作成する。
- ③ ①と②の資料を前い、各学級の人間関係等を示した「学級分布図」を作成し、学校全体で各学級や各児童生徒の課題に対する「支養機合的な児童生徒理解を自指す。
- ④ 「支援検討会」で課題を削縮にし、めざす繁にしていくための「プログラム(横浜プログラム)」をプログラム集から選択し、様々な活動のなかで実践していく。

「横浜市人権教育実践校」 1 年曾の今年は、③の「支援検討会」を充実させます。ベテラン、望望、若手…すべての教職員が意見を出し合い、児童生徒の個性を見つめます。固定観念にとらわれず、多様な見方をするなかで教職員の人権意識の向上をはかり、児童生徒が生き生きと個性を育むことのできる大鳥中学校にしていきますので、ご期待ください。

② 大鳥中学校の生徒達が出演! 横浜市中学校給食プロモーション動画 ②

(以下、横浜市記者発表資料から)



#1 「つながる」 編 黙食が日常になった生徒たちが、これからどのように 給食をとりたいかをクラスで 話し合いました。 生徒の声や表情から、みんなで食べる楽しさを感じていただける動画です。

【YouTube】 URL https://youtu.be/Zb817vKrH6g(再生時間: 3分42秒)

#2 「新たな発覚」 編 最近 「へぇ〜」と思ったことを、生徒たちに聞きました。 給食を通じて、「生徒に新たな発見を提供する」というメッセージを込めた動画です。(再生時間: 1 分41 秒)



#3 「健康を実感」編 「何食べて頑張ってる?」という問いに、 生徒たちがユニークに答えていきます。 給食が、「生徒の心と体の成長を支える」というメッセージを込めた動画です。(青生時間: 1 分31秒)

♡8月に行われた行事から爲

〇中区開催「横浜子ども会議」中区役所七階会議室 8月31日(木)

「横浜子ども会議」は平成25年度から始まりました。「つながる広げるいじめ未然防止の輪いじめをなくすために一人ひとりできること」をテーマに中区の小・中学生が集まり、答学校の取り組みを発表し、いじめ防止について話し合いを行いました。大鳥中学校からは2名の生徒会役員が出席し、活発な討議を行いました。内容は出席者が各学校に美って児童生徒に伝え、実践していきます。

